

退職手當の財源は會社が過去十數年間積立て來た職工職員扶助資金二十余萬圓に毎年期約四萬圓宛を積立て居たので之を銀行定期預金にしても一萬三千圓余の利子を得る。今、名古屋、大阪兩工場一ヶ月平均二人宛退職するにしても充分に前記の利子に依つて補れ、決して營業資金の上に又經營を左右する程の問題でない。反つて退職手當を制定することに依つて職工が安心して働くので能率は舉り利益をより多く擧げんとする恒久的な經營方策ではないか。

次に問題となるは、賃銀に關する件である。この問題は主として常備職工の歩増獎勵が中心となつて居てこの常備者は全職工の四分の一以下の人数であつて併もこの常備者は請負制度を爲す事困難な作業であるのと熟練せる技術と優秀なる手腕は到底、他工場及び同一産業にても得られない特種な常備工である。この常備工の收入が不熟練工の請負に依る收入より安いことでは不平の起るは當然である。不平と不満があれば能率は下り生産は減退すること火を見るより明である。我等は勞働力の價値に等しき報酬を要求することは決して會社の經營を困難化さゝんが爲のものではない。反對に自己の有する優秀なる手腕をより多く生産の上に揮わんとする方策に外ならない。まして二百數十萬の動産不動産に毎年約六十萬圓の利益を擧げ得る會社にして何の重荷であらう。

その他の要求は各々部分的なものであつて、その本質が會社をして破産に導き、吾等は共に野倒れ

するが如き無稽なる要求してゐるものではない。

六、結 論

此の要求の全部を拒絶

をして幾十名の暴力團を雇ひ入れ、不安暗黒なる氣持を持つて、生産を停止し、幾多の顧客に對して信用を落し、一般市民に迷惑と不安の念を與へ加ふに人民保護にある警察官までがその爭議の警戒のために、無意味なる日時を費さす事は、會社が聲明せる「今や會社は國外の強敵に對し紡績機械製作等の成否の岸頭に立ち、日夜心血を絞る」人々の取るべき手段ではなく又私憤、感情に依つては國外の優良なる紡績を壓倒することは、不可能なことである。今日まで幾多の犠牲を拂ひ今日漸く生産品の聲價を擧げんとする際に僅かな問題で五十日余も爭議を繼續さし何等具體的な解決策を考へず徒らに流言を放ち爭議團の切崩しそれに依つて所謂社會的、紳士的な体面を保たんとするが如きは、羊頭を吊し狗肉の賣る手段であると斷言しても差支へないでせう。

我等は

今日まで

五百余人の従業員と家族を合せ約二千人が米櫃の空になるのも忘れて正々堂々と一人の檢束者も一人の裏切者も出さず文書に依り言論に依り行動に依つて吾等の主張が無理か又會社の取れる手段が是かを一般市民及全國の勞働者に訴